

## (3) 肝炎肝がん対策の推進 計画P 48-49

### 《第3期大阪府がん対策推進計画における個別目標》

	個別目標	計画策定時の状況 【平成27(2015)年度】	現在の状況 【平成30(2018)年度】	2023年度の目標
1	肝炎ウイルス検査累積受診者数 【大阪府調べ】	約55万人	約70万人	約109万人
2	肝炎ウイルス検査精密検査受診率 【大阪府調べ】	44.4%	56.4%	80%

現状・課題	<p>◆肝炎ウイルス検査陽性者の重症化を予防することが肝がんの減少につながることから、肝炎ウイルス検査の陽性者への精密検査の受診勧奨、肝疾患診療連携拠点病院を中心とする医療提供体制の充実が必要。</p>
本年度の取組	<p>《肝炎肝がんの予防、医療の推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■肝炎ウイルス検査の陽性者に対しフォローアップを実施し、精密検査受診状況を把握するとともに精密検査未受診者に対して受診勧奨を実施 【R1年度陽性者：15人（R1.12末時点）】</li> <li>■初回精密検査費用助成の対象拡大（職域の健康診断等）【R1年度：40人（R2.1末時点）】</li> <li>■肝がん・重度肝硬変治療促進事業にかかる指定医療機関の拡大【89機関（R2.1末時点）】</li> <li>■肝がん・重度肝硬変治療促進事業の運用の弾力化（R2.1.1～）【H30年度：2人、R1年度：11人（R2.1末時点）】</li> <li>■国の制度変更に伴い健康手帳エルを改訂</li> </ul> <p>《肝炎ウイルス検査の受診促進》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■市町村に対して受診者数向上にかかる好事例の紹介等を行い、各市町村における受診者数向上に向けた取り組みを支援・促進</li> <li>■肝炎ウイルス感染の高リスク集団の検討</li> </ul> <p>《肝炎肝がんに関する普及啓発の推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■肝炎ウイルス検査の受診勧奨等を行う肝炎医療コーディネーターを養成【R1年度：373人】</li> <li>■各関係機関にチラシの配付や広報への掲載依頼等を行い肝炎ウイルス検査の受診勧奨を実施</li> </ul>
今後の取組予定	<p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■肝炎医療コーディネーターの活動支援</li> <li>■市町村及び職域との連携の強化</li> <li>■肝炎、肝がん患者の重症化予防対策の推進</li> </ul> <p>《次年度の取組》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■肝炎医療コーディネーターを活用した受診勧奨</li> <li>■陽性者のフォローアップの充実を市町村に働きかけ精密検査受診率の向上に取り組む</li> <li>■肝炎医療コーディネーターの対象拡大及びコーディネーターの見える化について検討</li> </ul>
最終予算(案)	<p>肝炎ウイルス検査事業（46,253千円）、肝炎肝がん総合対策事業（7,138千円）、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（46,739千円）</p>

本年度評価  
概ね予定  
どおり

# 4 がん対策を社会全体で進める環境づくり

資料6

- (1) 社会全体での機運づくり 計画 P 59
- (2) 大阪府がん対策基金 計画 P 59
- (3) がん患者会等との連携推進 計画 P 60

## 《第3期大阪府がん対策推進計画におけるモニタリング指標》

	モニタリング指標	計画策定時の状況	現在の状況
1	がん対策基金による企画提案型 公募事業累積採択延べ件数 【大阪府調べ】	平成25 (2013) 年度：4件 平成26 (2014) 年度：7件 平成27 (2015) 年度：10件 平成28 (2016) 年度：12件 平成29 (2017) 年度：12件 延べ45件	平成30 (2018) 年度：11件 令和元 (2019) 年度：6件 延べ62件
2	がん検診受診推進員認定数 【大阪府調べ】	3,978人 【平成29 (2017) 年3月】	4,412人 【平成31年 (2019) 3月】
3	患者会、患者支援団体及び患者 サロンの数 【大阪府調べ】	患者会及び患者支援団体：36団体 患者サロン：58病院 【平成29 (2017) 年7月】	患者会及び患者支援団体：38団体 患者サロン：55病院 【令和元 (2019) 年7月】

### 現状・課題

- ◆がん対策を社会全体で推進するためには、医療関係団体や医療保険者、患者会及び患者支援団体、企業、マスメディアなど、社会全体で、がん患者や家族への理解を深める普及啓発や支援体制の構築が必要。
- ◆大阪府がん対策基金の効果的な活用や、がん患者団体等との連携を図る必要がある。

### 本年度の取組

- 《社会全体でがん対策を進める機運醸成》
- マスメディアやがん診療連携協議会と連携したキャンサーフォーラムや、市民祭りでのチラシ配布等による啓発を実施。
  - 連携企業（住友生命保険相互会社等）のがん検診受診推進員による啓発を実施。
- 《大阪府がん対策基金》
- 令和元年度寄附額5,721千円（R1.12末時点）寄附総額51,873千円（H24～R1.12末）
  - 寄附金を活用し、がん検診の普及啓発資材の作成、がん教育や企画提案型公募事業等を実施。
  - 健活おおさか推進府民会議等においてリーフレットを配布する等、基金への寄附をPR。
- 《がん患者会等との連携推進》
- 患者会や患者サロンの情報について、地域の療養情報冊子及び別冊、ホームページを改訂し、府内の拠点病院等へ配布。
  - がん対策基金等を活用して患者会や患者サロンの活動を支援。

本年度評価  
概ね予定  
どおり

### 今後の取組予定

- 《課題》
- 患者サロンの運営に係る病院の負担軽減
  - 社会全体でがん対策を進めていく更なる機運醸成
- 《次年度の取組》
- 引き続き、がん対策基金の寄附の拡大に努めるとともに、寄附等を活用して患者会や患者サロンの活動を支援。
  - がん患者会等の情報について、療養情報冊子やHPの改訂、拠点病院への配布をする。
  - 大阪がん患者団体協議会及び関係者との継続的な意見交換を行い、がん対策の推進に努める。

### 最終予算(案)

がん検診普及事業（1,504千円）、企画提案公募によるがん対策貢献事業（1,400千円）、がんの予防につながる学習活動の充実支援事業（410千円）、緩和医療についての正しい知識の普及事業（4,457千円）等